

第2章 機能を考慮した医療提供施設の整備目標

第1節 がん対策

【現状と課題】

現 状

- 1 がんの患者数等
 - 当医療圏の平成 26 (2014) 年のがん罹患状況は、男性は前立腺 (19.8%) が最も多く、次いで胃 (16.8%)、肺 (14.6%) の順で、女性は乳房 (25.3%) が最も多く、次いで大腸 (13.4%)、肺 (11.0%) の順となっています。(表 2-1-1)
 - 当医療圏のがんによる死亡数は死因順位の第 1 位で、平成 27 (2015) 年は死亡総数の 29.3% を占めています。部位別にみると、男性は、肺 (26.2%) が最も多く、次いで胃 (15.1%)、大腸 (11.5%) の順で、女性は大腸 (14.3%)、肺 (12.2%)、胃 (12.0%) の順に多くなっています。(表 1-3-6、表 2-1-2)
- 2 がん予防・早期発見の推進
 - がんの発症には喫煙や食事、運動といった生活習慣や感染症と関連のあるものがあります。地域住民ががんについて正しい知識を持ち、主体的に生活習慣の改善に努めることができるよう、市町、保健所及び病院等で喫煙対策や予防啓発が行われています。
 - がんの早期発見のため、がん検診の受診が重要です。平成 27 (2015) 年度の圏域の推計受診率は肺がん検診 44.8%、胃がん検診 25.9%、大腸がん検診 41.8%、子宮がん検診 36.0%、乳がん検診 34.9% となっています。(表 2-1-3)
 - 平成 27 (2015) 年度のがん検診の精検受診率は、肺がん 88.4%、胃がん 83.2%、大腸がん 76.2%、子宮がん 74.5%、乳がん 90.2% となっています。発見率は肺がん 0.69%、胃がん 0.13%、大腸がん 0.20%、子宮がん 0.01%、乳がん 0.40% となっています。(表 2-1-3)
 - 保健所では肝炎ウイルス陽性者の早期発見とウイルス性肝炎患者の重症化予防のために、無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。また、管内市町は健康増進法に基づき肝炎ウイルス検診を実施しています。
 - 平成 28 (2016) 年に、地域がん登録事業に、がん患者の届出があった医療機関は病院が 5 施設、診療所が 3 施設です。
 - 平成 28 (2016) 年 1 月から「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、全国がん登録が開始されました。

課 題

- 発がんリスクの低減を図るため、たばこ対策や食生活など、地域・職域・学校が連携し、継続して効果的な予防に取り組む必要があります。
- がん検診の精度管理を充実し、関係機関が連携して、がん検診の受診率とがん精密検査受診率の向上に取り組む必要があります。
- 適切ながん対策を推進するために、がん発生や治療の実態把握が重要であり、全国がん登録へのがん患者情報の登録を推進する必要があります。

3 医療提供体制

- がん患者の受療動向は、圏域内完結率は76.7%であり、残りは名古屋医療圏が大部分です。(表2-1-4)
また、他の医療圏からのがん患者の受入率は59.5%で、多くの患者を受け入れています。(表2-1-5)
- 胃、大腸、乳腺、肺、肝臓、子宮がんの年間に実施した手術件数が10件以上の「専門的医療を提供する病院」が6施設あり、公立陶生病院、藤田保健衛生大病院、愛知医大病院、旭労災病院、日進おりど病院、あいち肝胆膵ホスピタルです。(表2-1-6)
- 手術療法、放射線療法、薬物療法など集学的治療が複数の病院において行われています。(表2-1-7)
また、外来にて薬物療法を受けられる病院が10施設あります。(表2-1-8)
- 公立陶生病院、藤田保健衛生大病院、愛知医大病院では、内視鏡下手術用医療ロボットダヴィンチによる高度専門医療を実施しており、他医療圏からの患者も多くみられる状況です。
- 現在、がん薬物療法専門医やがん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師、がん専門薬剤師を配置している病院は少なく、また、愛知県医療機能情報公表システム(平成29(2017)年度調査)によると放射線治療において専任の放射線専門医が配置されている病院は4病院です。

4 地域がん診療連携拠点病院等

- 当医療圏域では3つの拠点病院があります。「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」に基づき、公立陶生病院、藤田保健衛生大病院が指定されています。
また、「愛知県がん診療拠点病院」として、愛知医大病院が指定されています。
- 肺がん、胃がん、肝臓がん、大腸がん、乳がんについて、クリティカルパスを用いた地域連携診療計画による病病連携又は病診連携が行なわれています。
- 拠点病院では、がん相談支援センターが設置され、拠点病院の受診の有無に関わらず、がん患者や家族の相談支援を行っています。
- 拠点病院では、県民へのがん医療情報の提供や診療所などの医療機関を対象に緩和ケア・早期診断などに関する研修会や症例検討会などを実施しています。

5 緩和ケア等の推進

- 3つの拠点病院では質の高い緩和ケアを提供するために、多種の専門職が加わった緩和ケアチームを設置しています。
- 緩和ケア病棟を有する施設は平成29(2017)年4月1日現在、愛知国際病院、藤田保健衛生大病院の2

- 安心かつ安全ながん医療を受けられるよう、専門職種の更なる充実が望まれます。

- 患者数の少ない小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等も含め、個々の患者の状況や、就労と治療の両立等、ライフステージにおける多様なニーズに対応するため、情報提供や相談支援体制の充実が望まれます。

- 緩和ケアを実施する施設数の増加とともに、住み慣れた地域で生活の質を重視

施設です。

緩和ケアを行っている病院は 12 施設あり、医療用麻薬によるがん疼痛治療やがんに伴う精神症状のケアを行っています。(表 2-1-8)

- 在宅療養者へ緩和ケアを実施する管内の麻薬取り扱い施設数は直近 3 年間では大きな変化はありません。(表 2-1-9)

した緩和医療が受けられるよう今後も多職種連携による在宅療養支援を強化していく必要があります。

- 入院・外来・在宅における切れ目のない緩和ケアの実施のため、ケアに関わる人材の確保・育成が望まれます。

【今後の方策】

- がんの発症と喫煙が及ぼす影響や生活習慣や感染症との関連について継続して周知していきます。
- 市町等で実施しているがん検診の受診率・精密検診受診率を上げ、がんの早期発見に努めていきます。
- がん診療連携拠点病院等を中心に、地域連携クリティカルパスの整備を図り、質の高い医療の提供と連携体制の充実に努めていきます。
- 地域で行われているがん治療に関する医療情報を、わかりやすく提供していきます。
- 地域における緩和ケアの体制整備を図っていきます。
- 小児・AYA世代のがん、希少がん、難治性がん等に関する情報の提供に努めます。
- 就労等の社会生活を継続しながら外来でがん治療や緩和ケアを受けられる連携体制や相談支援体制を整備していきます。

表 2-1-1 地域がん登録による尾張東部医療圏域の部位別がん罹患数 (平成 26 年) (人)

区分	総数	胃	肺	大腸	肝臓	前立腺	乳房	子宮
男性	1,601	269	233	227	69	317	1	-
女性	1,094	111	120	147	23	-	277	81
計	2,695	380	353	374	92	317	278	81

資料：愛知県のがん登録(Cancer Incidence for 2014 in Aichi prefecture, Japan) (平成 29 年 9 月発行)

表 2-1-2 尾張東部医療圏の悪性新生物による部位別死亡数 (平成 27 年) (人)

区分	総数	胃	気管・肺	大腸	肝臓	前立腺	乳房	子宮	膵臓
男性	611	92	160	70	46	24	0	-	56
女性	433	52	53	62	19	-	46	32	46
計	1,044	144	213	132	65	24	46	32	102

資料：平成 27 年愛知県衛生年報

表 2-1-3 平成 27 年度がん検診結果 (県及び尾張東部医療圏内市町)

		肺	胃	大腸	子宮	乳房
受診率 %	圏域内	38.5	22.2	35.9	37.7	32.4
	愛知県	29.8	15.4	27.8	24.5	20.8
推計受診率 %	圏域内	44.8	25.9	41.8	36.0	34.9
	愛知県 (名古屋市を除く)	35.3	18.1	32.7	26.9	23.1
要精検率 %	圏域内	2.0	7.1	9.4	1.5	7.1
	愛知県 (名古屋市を除く)	1.7	8.9	8.5	1.8	8.6
精検受診率 %	圏域内	88.4	83.2	76.2	74.5	90.2
	愛知県 (名古屋市を除く)	83.2	79.9	70.3	71.6	86.5
発見率 %	圏域内	0.07	0.13	0.20	0.01	0.40
	愛知県 (名古屋市を除く)	0.05	0.15	0.22	0.02	0.32

資料：平成 27 年度各がん検診の結果報告 (愛知県健康福祉部) 子宮がん、乳がんについては隔年受診率

表 2-1-4 尾張東部医療圏のがん患者の医療圏別入院数（平成 25 年度）

（人／日）

区分	医療機関所在地													計
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三北部	西三南部西	西三南部東	東三北部	東三南部	県外等	
住所지가尾張東部医療圏の患者	74	*	0	244	*	*	*	*	*	*	0	*	*	318

資料：愛知県地域医療構想（愛知県健康福祉部）

医療圏完結率：76.7%

注）レセプト情報等活用の際の制約から、10人/日未満となる数値は公表できないため*と表示。

表 2-1-5 尾張東部医療圏に入院しているがん患者状況（平成 25 年度）

（人／日）

区分	患者住所地													計
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三北部	西三南部西	西三南部東	東三北部	東三南部	県外等	
尾張東部医療圏内の医療機関の入院患者	186	*	*	244	*	31	54	30	46	12	*	*	*	603

資料：愛知県地域医療構想（愛知県健康福祉部）

他医療圏受入率：59.5%

注）レセプト情報等活用の際の制約から、10人/日未満となる数値は公表できないため*と表示。

表 2-1-6 尾張東部医療圏におけるがん診療連携拠点病院、専門的医療を提供する病院の現況

がん診療連携拠点病院等	専門的医療を提供する病院						
	胃	大腸	乳腺	肺	肝臓	子宮	
公立陶生病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院 あいち肝胆膵ホスピタル	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 日進おりど病院 愛知医大病院 あいち肝胆膵ホスピタル	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 旭労災病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院	公立陶生病院 藤田保健衛生大病院 愛知医大病院

資料：愛知県医療機能情報公表システム（平成 29 年度調査）

専門的医療を提供する病院：平成 29 年度調査において年間手術 10 件以上実施した病院です。

表 2-1-7 尾張東部医療圏の手術療法・放射線療法・薬物療法（化学療法）実施病院数

	胃	大腸	乳腺	肺	肝臓	子宮
手術療法	5	6	4	4	3	3
放射線療法	2		3	3		3
薬物療法（化学療法）	8	9	7	5	7	4

資料：愛知県医療機能情報公表システム（平成 29 年度調査）

※：手術療法は、平成 28 年度に 10 件以上手術を行った病院数を表しています。

表 2-1-8 尾張東部医療圏の外来における薬物療法（化学療法）・緩和ケア実施病院数

外来における薬物療法（化学療法）	緩和ケア	
	医療用麻薬によるがん疼痛治療	がんに伴う精神症状のケア
10	12	5

資料：愛知県医療機能情報公表システム（平成 29 年度調査）

表 2-1-9 尾張東部医療圏の麻薬取り扱い施設数推移（年度末）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
病院	17	17	17
診療所	97	102	103
麻薬小売業者	178	181	181

資料：保健所調査